

新年あけましておめでとうございます！

昨年は保護者の皆様、地域の皆様にはたいへんお世話になり、誠にありがとうございました。本年も変わらぬご支援、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

3学期が始まりました。全国各地でコロナの感染拡大がみられていますが、生徒たちが感染しないように、また、学校でクラスターが発生しないよう対策しながら教育活動を進めてまいります。3学期は学校においては1年の締めくくりの時期です。1, 2年生には来年度1つ学年が上がることへの準備、そして、3年生には卒業に向け、また、それぞれの進路に向けて有終の美が飾れるよう頑張ってもらいたいと思います。

1月8日（金）3学期始業式では、校長から次のお話をしました。



3学期始業式 校長講話

お正月の風物詩の1つに箱根駅伝があります。毎年、1月2日と3日にテレビでやっていますが、みなさんは知っているでしょうか。今年の箱根駅伝も盛り上がりました。

今年の箱根駅伝で印象に残ったのは、最後に逆転されて残念ながら優勝はできなかったけれど、創価大学がよく頑張ったことです。創価大学のメンバーの1万m走の平均タイムは、参加21チーム中13位、実力から言えば優勝を狙えるチームではありません。でも、創価大学の監督が選手に言う「タイムではなく人が走る。」という言葉どおり、選手たちは自分の力を100%、いや、100%以上出し切れたことで、誰も予想しなかった好成績を上げることができたのでした。



駅伝が面白いのは、タスキとともにメンバー全員の思いをつなぐというところです。自分の調子が悪ければ順位を落としてしまう。そんなプレッシャーに押しつぶされ、全力を出し切れなかった選手や、足が痙攣して途中で走れなくなった選手がいます。多くの選手がタスキを次の選手に渡したとたんに倒れこみます。まさに、全員が身を削り、自分の限界を超える走りをするのでしょう。

苦しさを乗り越えて走るのは自分のためであり、それ以上に仲間のためである。必死の思いで走り抜き、仲間にタスキをつなぐ姿。箱根駅伝が毎年大人気なのはそんな姿がみら

れるからだと思います。

「タイムではなく人が走る。」、人は仲間とともに何かを目指し、励まし合うことで自分の実力以上のものを出せるものなのかもしれません。3年生はいよいよ受験（受検）が始まります。入試を受けるのはもちろん個人ですが、仲間と励まし合い、協力し合ってこの試練を乗り越えるという強い気持ちが、自分の実力以上のものを発揮できる原動力になるのかなと思いました。

さて、話がまったく変わります。コロナのことです。

日本中でこれまでにないペースで感染が拡大しています。三重県でも徐々に増えています。これまで通り、手洗い、換気など、各自ができることを徹底してください。寒い日が続くので防寒にも気を配ってください。もし、体調が悪かったら、我慢せずに学校を休んでください。これは自分のためでもあり、まわりの人のためでもあります。

とはいえ、いつ誰がコロナに感染してもおかしくありません。もし、感染してしまった人がいても、その人が悪いわけではありません。感染者への差別や偏見の話を聞きますが、そのようなことは大池中学校ではあってはいけません。もし、気になることがあれば、必ず先生に相談してください。必ず守ります。

このようなときにこそ、家族、友達、先生など、誰に対しても、温かく優しい気持ちで接することをより一層大切にしてほしいと願っています。相手をリスペクト、尊重する態度を持ってください。誰もが安心して学校生活を送れる大池中学校であるように、皆さんの一人一人の行動に期待しています。



四日市市学校感染症だより

健やかな学校生活のために



先日、四日市市教育委員会から「四日市市学校感染だより」が発行されました。「**できることを続ける ～基本的な対策を確実に～**」とありました。さらに、感染症対策を「**短距離走ではなくマラソンだ**」と例えられていました。次のことについて引き続き気を配りたいと思います。

感染源を絶つ 外からウイルスを持ち込まない！

⇒ 毎朝ご家庭で検温と健康観察。発熱等の症状があれば無理して登校せずに休養を。

感染経路を絶つ ウイルスを身体にいれない！

⇒ 飛沫感染と接触感染を防ぐ。マスクの着用と換気。手洗いの徹底。

抵抗力を高める ウイルスに負けない！

⇒ 十分な睡眠。適度な運動。バランスの取れた食事。